

J I N D A I N O J O 神代農場

日常の隣に息を潜めた

『都会のオアシス』

神

代農場は調布市の住宅街の中に佇む、都立農業高

校所有の里山です。『里山』の定義は様々ですが、多くの文献で、『人の手によって管理・維持され続けている山』といった旨の説明がなされています。神代農場もその例に漏れず、地道な管理活動を続けているため貴重な動植物が多様に生育できる環境が成り立っています。



アカシジミ



キンラン



カタクリ



アサギマダラ

『都』に、立農業高校の部活動のうちものがあります。これはその名の通り、神代農場をフィールドとする部活動で、ほぼ毎週、日曜日に活動しています。その活動内容の一つとして、希少な動植物であるカタクリやゲンジボタルの生育調査が挙げられます。個体数の調査をするだけでなく、それらの動植物が生育しやすい環境を作るため、ホタルの水路へ落ちた枯葉や枝を掃除したり、カタクリの育つ場所の落ち葉や雑草を適度に取り除くことも大切な活動です。また、竹の過度な増殖を防ぐため竹林へと分け入り、伐採やタケノコ掘りなどの作業を行っています。ここ



水路の生態系調査



落ち葉掃き

里山の環境を護る若き力

都

立農業高校の部活動の中に、『神代農場部』とい

で伐採した竹は加工して竹炭にする他、竹材として農場内の階段や道の整備に用いています。この他にも様々な作業を行っている神代農場部ですが、そこで活動する部員達が特に大切にしているのは『地域交流』です。農場にほど近い深大寺の池で掻い掘りが行われた際はボランティアとして参加し、早春のカタクリ一般公開の際、来場者の方々に部員が一人同行し、農場で観察できる動物の解説だけでなく、ここで挙げたような活動内容の説明や里山の重要性などの話をさせて頂きました。これらの活動は全て、『里山の地道な管理活動』に他ならないのです。

お知らせ

神代農場は、毎週木曜日に一般公開を行っております。また、毎年早春のカタクリの時期にはカタクリの一般公開も行っております。詳しくは、都立農業高校HPを随時ご確認くださいませすようお願い致します。